

自宅で簡単！ デジタル画像で和本とみる

日本国内で出版され、和紙を糸で綴じた和装本を「**和本**（わほん）」と呼びます（巻物や浮世絵などを含むこともあります）。和本は江戸時代に多く発行されており、今でも図書館や博物館などで見ることができます。

江戸時代以前の和本は、著作権の保護期間の満了などにより、ウェブ上でデジタル画像として見られるものも多く存在します。このデジタル資料を収集・保存・提供する仕組みを「**デジタルアーカイブ**」と呼び、多くの機関で作成・公開しています。

デジタルアーカイブを使って、スマホ・パソコンから、昔の和本を見てみましょう。

数多く存在するデジタルアーカイブのうち、どのデジタルアーカイブでどのような画像が見られるのか、この資料案内でご紹介します。

紹介するデジタルアーカイブの閲覧は全て無料です。

ぜひ気楽にアクセスしてみてくださいね。

目次

- 1 最初の一步のデジタルアーカイブ …p1
- 2 調べたい資料が決まっているとき …p2
- 3 変わった切り口で楽しむ …p3
- 4 埼玉県のデジタルアーカイブ …p3
- 5 デジタルアーカイブについて読む …p4



埼玉県立熊谷図書館 人文・社会科学資料担当
熊谷市箱田5-6-1 Tel: 048-523-6291

1 最初の一步のデジタルアーカイブ

調べたい人名・書名があるとき、またはキーワードで大まかに検索したいときは、まずこのデータベースで検索してみましょう。収録している画像数が多く、操作もわかりやすいウェブサイトです。



(<https://dl.ndl.go.jp/> 国立国会図書館)



国立国会図書館で収集しているデジタル資料を閲覧できるサービスで、「古典籍資料（貴重書等）」では江戸期以前の和古書・清代以前の漢籍が探せる。公開範囲は3種あり、ログインなしでも9万件以上のデジタル画像を見ることが出来る。



(<https://jpsearch.go.jp/> 運用：国立国会図書館)



日本の幅広い分野のデジタルアーカイブと連携し、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム。サムネイル画像から資料を選択できるので、見やすく使いやすい。「[埼玉県ページ](#)」では県立の文化施設8館の収蔵資料を横断検索できる。

Cultural Japan

(<https://cultural.jp/> Cultural Japan)



世界中の美術館・博物館等で公開されている日本文化財データが検索できる。大英博物館や、メトロポリタン美術館所蔵の浮世絵なども見られる便利なウェブサイト。上記「ジャパンサーチ」に登録しているデータも含めて検索できる。

2 調べたい資料が決まっているとき

古典籍が見たい

国立公文書館デジタルアーカイブ
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN DIGITAL ARCHIVE



(<https://www.digital.archives.go.jp/> 国立公文書館)

公文書や重要文化財等のデジタル画像等の閲覧、印刷、ダウンロードが可能。江戸幕府の紅葉山文庫を含む「内閣文庫」や、江戸時代の全国絵図の元禄国絵図等、貴重資料を多数公開している。

国書データベース



(<https://kokusho.nijl.ac.jp/> 国文学研究資料館)

「日本古典籍総合目録データベース」を元に発展したもので、古典籍（江戸時代以前の書籍）の書誌情報と画像が無料で利用できる。一部の画像には全文翻刻テキストも付加している。

文化財が見たい

ColBase

国立文化財機構所蔵品
統合検索システム



(<https://colbase.nich.go.jp/> 文化財活用センター)

国立文化財機構の4つの国立博物館（東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館）と2つの研究所（東京文化財研究所、奈良文化財研究所）の所蔵品、および皇居三の丸尚蔵館の収蔵品を横断的に検索できる。

東京国立博物館 画像検索



(<https://webarchives.tnm.jp/imgsearch/>

東京国立博物館)

東京国立博物館が所蔵する文化財の画像を検索することができる。左記「ColBase」に収録されていない画像も見つかる。本のみを探したいときは「東京国立博物館デジタルライブラリー」(<https://webarchives.tnm.jp/dlib/>)が便利。

江戸を知る



東京都立図書館
デジタルアーカイブ



(<https://archive.library.metro.tokyo.lg.jp/da/top>

東京都立図書館)

東京都立図書館がデジタル化した、江戸・東京関係資料の画像を検索できるデータベース。浮世絵や和漢書に加え、国の重要文化財である「江戸城造営関係資料」が閲覧できる。



役者絵が見たい



早稲田大学文化資源データベース

(<https://archive.waseda.jp/archive/index.html>

早稲田大学)

坪内博士記念演劇博物館、會津八一記念博物館を含む早稲田大学が所蔵する資料のデータベース。「浮世絵データベース」では、歌舞伎を題材にした「役者絵」を数多く公開している。



江戸時代の本の画像は、自由に使っていいのかな？

著作権の保護期間は、著作者の死後70年を経過するまで（団体や無名の著作は公表後70年）と定められています。江戸時代に流通していた和本は、基本的に著作権の保護が満了していると言えるでしょう。ただしデジタルアーカイブの画像は、撮影者やデータ作成者の著作物として著作権が発生する可能性があります。

デジタル画像を利用する際は、アーカイブ公開機関が指定する「利用条件」などをよく確認しましょう。

文化庁「著作権」のページ (<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/index.html>) や、この資料案内4ページの「作品利用と著作権」の図書などが参考になります。



3 変わった切り口で楽しむ

ROIS-DS人文学オープンデータ
共同利用センター



(<https://codh.rois.ac.jp/>)

人文学オープンデータ共同利用センター)

地名や職種から当時の広告が探せる「江戸買物案内」や、江戸時代のレシピを再現している「江戸料理レシピデータセット」など、ユニークなデータが利用できる。

データベースれきはく



(<https://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html>)

国立歴史民俗博物館)

館蔵資料データベースのうち「洛中洛外図屏風」「歴博甲本」「歴博乙本」人物データベース」では、身分や服装、髪型から人物像を検索できる。

4 埼玉県のデジタルアーカイブ



埼玉県立図書館 デジタルライブラリー



(<https://www.lib.pref.saitama.jp/collection/saitama/digi-lib/index.html>)

埼玉県立図書館)

県立図書館が所蔵する古典籍や絵図、古写真等のデジタル画像、県立図書館が収集したインターネット上に公開されている県発行の刊行物(デジタル行政資料)等を公開している。前述の「ジャパンサーチ」からも検索できる。

例えばこんな和本も…

『[埼玉県地誌略](#)』(川島樸坪,伊藤直/共著 埼玉県 1877)
当時の「小学校用教科書」。埼玉県の各地を平易な文章と絵で説明している。狩野良信による挿画も必見。右の画像は荒川の様子を描いたもの。



彩の国 デジタルアーカイブ



(<https://www.eizou.pref.saitama.lg.jp> 埼玉県)

埼玉県が所蔵する文化財写真などの貴重資料をデジタル化し保存している。「文化財検索」から江戸時代の文書が検索できるほか、地域から近現代の映像や写真を探することが可能。埼玉の映像を探すときに、まず利用したいアーカイブ。

熊谷市立熊谷図書館 デジタルアーカイブ



(<https://www.kumagayacity.library.ne.jp>)

熊谷市立熊谷図書館)

「熊谷直実・蓮生法師デジタルライブラリー」では熊谷直実に関する資料を集めて解説している。文献の内容全てが確認できるわけではないが、関連史跡の紹介など、見て楽しいコンテンツとなっている。

久喜市立図書館/久喜市
デジタルアーカイブ



(<https://adeac.jp/kuki-lib/top/> 久喜市立鷺宮図書館)

「本多静六関係資料」「鷺宮神社関係資料」など、久喜市の歴史や文化、ゆかりの偉人に関する郷土資料を見ることができる。解題がついている画像も多く、初めて学ぶ人にもわかりやすい。

越谷市 デジタルアーカイブ



(<https://adeac.jp/koshigaya-city-digital-archives/top/>)

越谷市)

越谷市が所蔵する地図、絵図、古文書などを公開している。市民から寄贈された写真を公開する、ボランティアがくずし字の解読をするなど、市民協働型のコンテンツがある。前述「国立公文書館デジタルアーカイブ」とも連携している。

5 デジタルアーカイブについて読む

デジタルアーカイブ全般について知る

請求記号	書名	編著者	出版者	出版年
007.5/テ	デジタルアーカイブの新展開	時実象一／著	勉誠社	2023
デジタルアーカイブで記録すべきものの説明や保存方法がわかりやすく説明されている。 「第5章 デジタルアーカイブは生きている」では、実際にどのようにデジタルアーカイブが利用されているのか説明している。				
007.5/ユ	入門デジタルアーカイブ	柳与志夫／責任編集	勉誠出版	2017
デジタルアーカイブを一から学べる、まず読みたい入門書。				

自分でつくる

007.5/テ	デジタルアーカイブの理論と実践 デジタルアーキビスト入門	日本デジタルアーキビスト資格認定機構／編	樹村房	2023
デジタルアーカイブを提供する専門家「デジタルアーキビスト」に必要な知識の入門書				
018.09/コ	これからのアーキビスト デジタル時代の人材育成入門	NPO知的資源イニシアティブ／編	勉誠出版	2014
361.7/チ	地域でつくる・地域をつくるメディアとアーカイブ	松本恭幸／編	大月書店	2022
持続可能な地域社会のデザインに向けて、地域の情報発信や記録の継承がどのような役割を果たすのか書かれている。				
601.1361/チ	地域情報のデジタルアーカイブとまちづくり 「神田神保町アーカイブ」をめぐる	渡辺達朗／編著	白桃書房	2023
デジタルアーカイブをまちづくりの一手段として捉え、住民が作るアーカイブについて解説している。				

一歩進んだ知識

007.5/テ	デジタル時代のアーカイブ系譜学	柳与志夫／監修	みすず書房	2022
007.5/テ	デジタル時代のコレクション論 デジタルアーカイブ・ベーシックス	中村覚、逢坂裕紀子／責任編集	勉誠社	2024
「デジタルアーカイブ・ベーシックス」シリーズは、デジタルアーカイブについて様々な角度から専門家が解説する論集。 より深く学びたい方におすすめ。				

作品利用と著作権

007.5/ケ	権利処理と法の実務 デジタルアーカイブ・ベーシックス	福井健策／監修	勉誠出版	2019
これまで類書のない、デジタルアーカイブの法関係に関する専門書。ただし出版年以降の法令の改正には注意が必要。				
021.2/テ	D X時代におけるデジタル・コンテンツ著作	金井重彦〔ほか〕／著	ぎょうせい	2021

こんなとき、どう探す？

江戸時代の着物を見たい！

まずは《[JAPAN SEARCH](#)》を「江戸時代 着物」などで検索してみましょう。江戸時代に用いられていた着物の写真や、関連する和本が出てきます。

もっと写真が見たいなら、《[ColBase](#)》の「種別：工芸＞生活用具＞服飾」で絞り込むと、打掛や小袖、袴などの写真が見られます。

錦絵から、当時の風俗を感じることもできます。
「美人画」などをキーワードに、《[早稲田大学文化資源データベース](#)》《[TOKYOアーカイブ](#)》も確認してみましょう。

昔の埼玉の名所の絵が見たい！

埼玉のことなら《[埼玉県立図書館デジタルライブラリー](#)》をどうぞ。トップページには、デジタル化資料一覧やテーマ別一覧があり「埼玉の名所」に関する和本をまとめることができます。デジタル化資料の検索画面では、対象資料で図書、雑誌、地図、写真を選択して検索できます。使い方がわからない場合はお問い合わせください。

更に調べたいときは《[国立国会図書館デジタルコレクション](#)》が便利。キーワードから全文検索できる資料も多数あり、地名などを入力するだけでたくさん資料がヒットします。

もっと知りたいときは、県立図書館の[レファレンスサービス](#)をご利用ください！
司書が調査相談のお手伝いをいたします。

